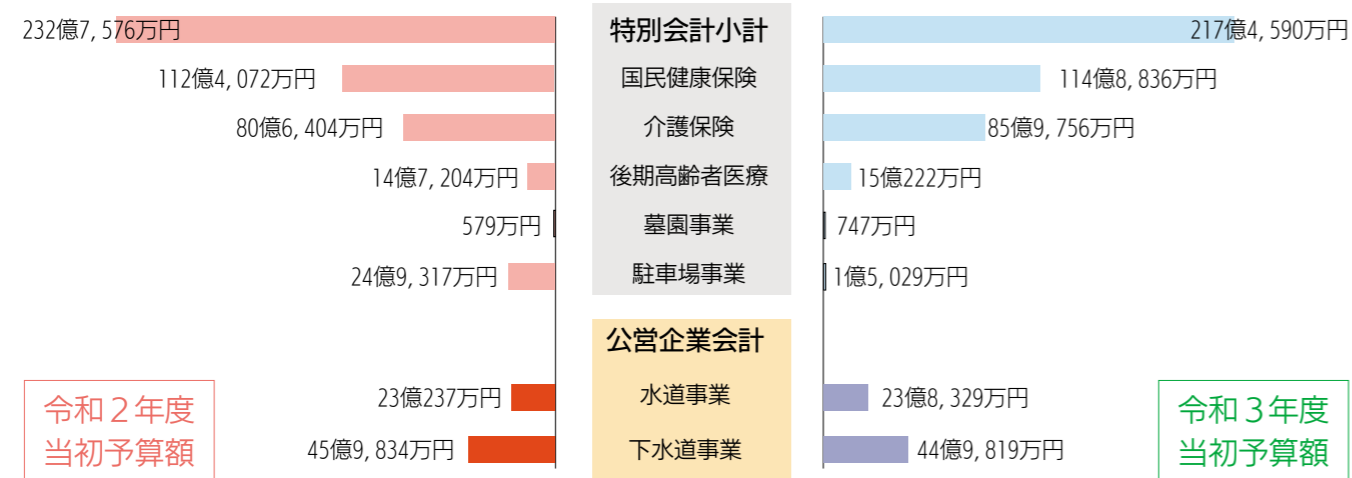


当初予算 特別会計 を詳しく

※水道事業会計と下水道事業会計は企業会計方式を用い、独立採算性で事業・経理を行っています。

特別会計
経理を他の会計と区別する必要があり、法律や条例に基づいて設置します。三島市には7つの特別会計があります。

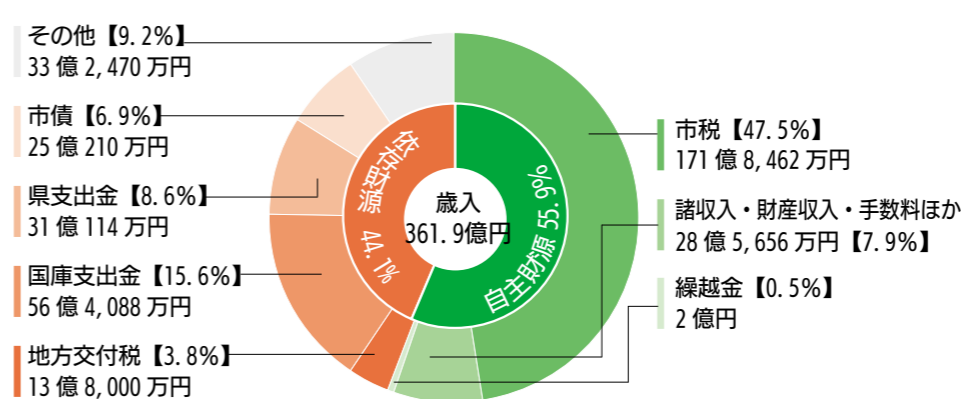
歳出のついで
性質別では、自立支援給付等事業や児童保育事業の増額などにより、扶助費が増加。普通建設事業では、公営住宅整備事業での建物整備の完了や市民文化会館施設整備事業の完了による減額に加え、道路・橋梁関連事業でも全般的に減額となっています。



当初予算 一般会計 を詳しく

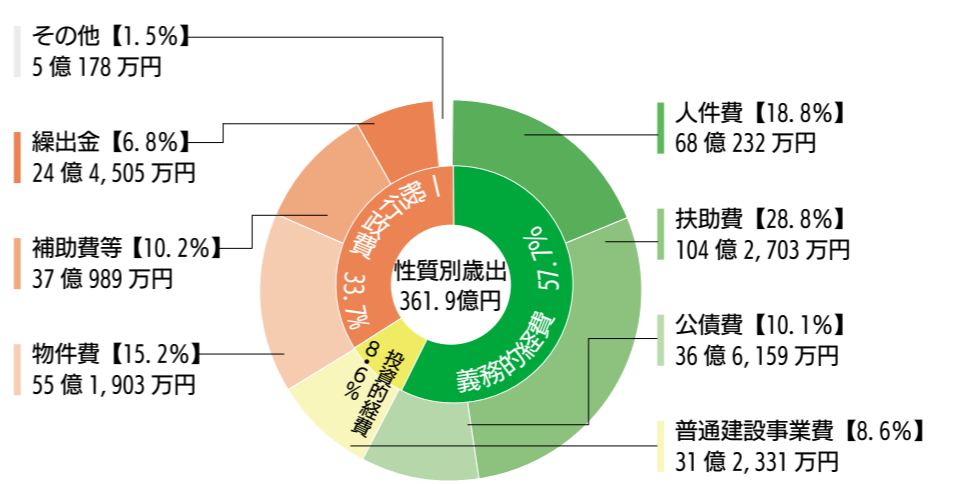
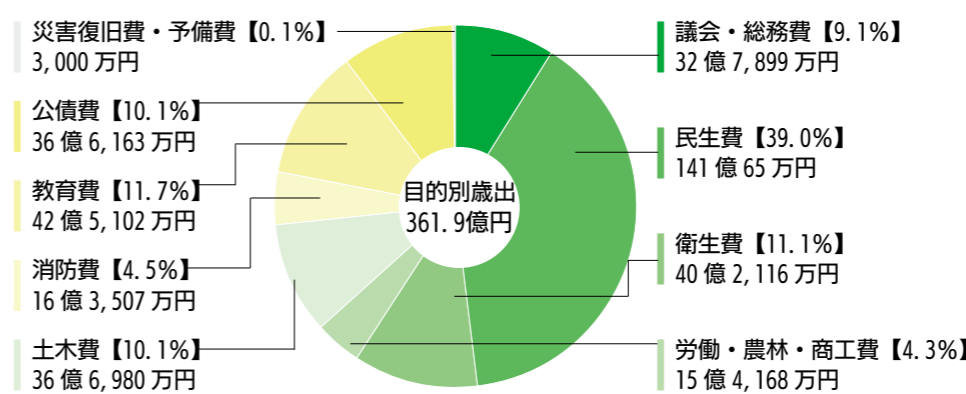
一般会計
市が行う仕事の大部分を賄う予算で、市税や国・県からの支出金などを財源にするものです。市民の皆さんには最もかわりの深い予算です。

歳入について
歳入の根幹である市税は、個人・法人市民税において新型コロナウイルス感染症の影響による減収、固定資産税において評価替えによる減収および新型コロナウイルス感染症緊急経済対策の一環である特例措置による減収、たばこ税において健康志向の一層の高まりによる減収などが見込まれ、市税全体では前年度当初予算を3.9%下回るものと見込んでいます。



用語解説！

市税…市民税・固定資産税など市独自の税金
繰越金…前年度予算から繰り越したお金
地方交付税…各市町村の財政状況に応じて、国から交付されるお金
国庫支出金・県支出金…特定の事業の財源として国や県から交付されるお金
市債…市が借り入れる借金
自主財源…市税、市営住宅使用料など、市が収納、徴収できる財源
依存財源…国庫支出金など、国や県から交付や割り当てられる財源
人件費…市職員の給与など
扶助費…高齢者・児童・障がい者などの支援にかかる経費
普通建設事業費…道路や公共施設の新・改築などにかかる経費
物件費…消費的性質をもつ経費（委託料、通信運搬費、光熱水費など）
補助費等…市から団体などの補助のため払う経費や報償費、火災保険料など
繰出金…一般会計、特別会計、基金の間で支出される経費
義務的経費…支出が義務付けられていて自由に減らすことが困難な経費（人件費、扶助費、公債費など）
投資的経費…支出効果が資本形成に向かい、将来に残るものに支出される経費
一般行政費…義務的経費と投資的経費以外の経費



当初予算を市民1人あたりで考える

市民1人あたりに1年で使われるお金
332,031円 (一般会計分)

市民1人あたりが1年で納めるお金
157,663円 (税金)

税の種類	金額
市民税	72,476円
固定資産税	65,626円
都市計画税	11,900円
市たばこ税	5,126円
軽自動車税	2,535円

※令和3年度当初予算と令和3年2月28日現在の三島市の人口108,996人を基に計算しています。

目的別の金額内訳

衛生費 /36,893円 健康増進、環境衛生、ごみ処理など	民生費 /129,368円 高齢者・障がい者福祉や子育て支援など	総務費 /27,729円 税の賦課徴収、戸籍の維持管理など	議会費 /2,355円 三島市議会の活動、運営など
土木費 /33,669円 道路、公園の維持管理、都市基盤整備など	商工費 /11,181円 商工業や観光の振興など	農林費 /2,625円 農業の振興など	労働費 /339円 就労支援や労働の振興など
その他 /275円 災害復旧・予備費など	公債費 /33,594円 借入金等の元金・利子の返済など	教育費 /39,002円 幼稚園・小中学校の維持管理、社会教育など	消防費 /15,001円 消防や救急など